

平成 22 年度
野生生物の生物学的知見研究、基盤的研究、フイージビリティースタディー及び
その他の関連研究課題一覧

(敬称略)

| 区分 番号 | 代表研究者 | 所属 | 研究課題名 |
|----------------|-------|-------------------|---|
| 野生生物の生物学的知見研究 | | | |
| 野生 1 | 上田哲行 | 石川県立大学 | アカトンボ減少傾向の把握とその原因究明 |
| 野生 2 | 白岩善博 | 筑波大学 | シヤジクモ類の衰退要因解明に向けた環境負荷 化学物質の影響に関する生理・生態学的研究 |
| 野生 3 | 三枝誠行 | 岡山大学 | 底生甲殻類の成長や成熟に見られる異常のスク リーニングと環境の影響評価に関する研究 |
| 基盤的研究 | | | |
| 基盤 1 | 大迫誠一郎 | 東京大学 | 化学物質誘発性のエピジェネティック修飾によ る DOHaD モデルの検証 |
| 基盤 2 | 安住 薫 | 北海道大学 | 海産無脊椎動物ホヤのトキシコジェノミクス基 盤研究 |
| 基盤 3 | 早川和一 | 金沢大学 | 多環芳香族炭化水素類の内分泌かく乱作用の構 造活性相関に基づく魚鱗の化学物質スクリー ニング法に関する研究 |
| 基盤 4 | 古賀 実 | 熊本県立大学 | 無脊椎動物(アミ類)における生殖・発生異常とそ の発生メカニズム |
| 基盤 5 | 田中嘉成 | 国立環境研究所 | 改良型ミジンコ繁殖毒性試験を用いた新たな数 理生態学的解析手法の検討 |
| フイージビリティースタディー | | | |
| FS 1 (野生) | 宇野誠一 | 鹿児島大学 水産学部 | 海底質中エストロゲン様物質経由のばく露とそ のリスク評価 |
| FS 2 (基盤) | 鯉淵典之 | 群馬大学大学院 医学系研究科 | 多動性に関わる内分泌系因子の同定とかく乱物 質の影響に関する研究 |
| FS 3 (基盤) | 井上博紀 | 酪農学園大学 | 易代謝性化学物質の体内動態と次世代への影響 に関する研究 |
| FS 4 (基盤) | 小林 亨 | 静岡県立大学 環境科学研究所 | 魚類生殖能を指標とした化学物質の内分泌かく 乱作用機構に関する研究 |
| その他の関連研究 | | | |
| その他 1 | 田辺信介 | 愛媛大学 | 生物蓄積性内分泌かく乱候補物質によるわが国 の野生生物汚染の実態解明 |

| | | | |
|-------|------|------------------------------|---|
| その他 2 | 井口泰泉 | 自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター | ミジンコにおける内分泌かく乱作用メカニズムの解析 |
| その他 3 | 井口泰泉 | 自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター | トキシコゲノミクスを応用した化学物質の内分泌かく乱作用スクリーニング手法の開発 |